

耳納ねっと！

2020年8月号 第53号



環境部会の取り組み

環境部会長 和仁 宗憲

耳納ねっと！設立当初より、ごみ減量の一つとしてダンボールコンポスト等による生ゴミの堆肥化についての講習を続けてきました。

調理残渣や食べ残し・腐敗して食べられなくなった食品など、人間が口にすることが出来なかった食べ物を微生物の働きで堆肥に変えて、花や野菜の肥料として再利用しようという活動です。

一昨年より、うきは市市民生活課と共催で、春にダンボールコンポスト講習、秋に設置型コンポスト/落ち葉・雑草の堆肥化講習をスタートさせました。毎回多くの方に参加していただいて、今年も予定していたのですが、コロナ感染の拡大が懸念されて中止となりました。今後の講習のスケジュールはまだ未定です。

堆肥が出来上がったら次のステップは野菜づくりですが、農薬や化学肥料を使わない安全な菜園講座も4年ほど前からスタートしました。田主丸在住の柿農家の井上さんを講師に招いて開催しております。別ページ掲載の井上さん執筆の記事を是非ご覧ください。

先に記したとおり、講習についてはほとんどが未定ですが、耳納ねっと！での第4土曜日の定期講習(ダンボールコンポスト 15時～)は開催しております。感染の状況によって開催の可否を判断しますので、事務局にお問い合わせ下さい。

私達の活動も自粛中ですが、この機会に各自で家庭菜園や耳納ねっと！の畑で野菜づくりの様々なノウハウを構築中です。

生ゴミが堆肥に変わり肥料として土に返し、畑に種を蒔き、その結果の収穫を楽しむ・・・そんな循環型の生活が多くの人々の日常になっていくことを期待しながら活動しています。

自粛生活の中で、働き方や社会の仕組み等の矛盾に気が付き始めた人々が増えています。そんな中で私達が日々口にしている食糧の確保や安全性を確実に担保するのは”自分で野菜を育てる”ことに目覚めた人々が世界中で確実に増えて実践に移っています。特に食糧の安全性については先の井上さんの記事を読んでいただいて、今のところ未定ではありますが講座に是非参加して下さい。

「土の中はどういう世界か」

千葉大学 園芸学部卒 井上果樹園代表
田主丸町 井上 永太郎 さん

意外と知らない植物と土の中の微生物との関りや安心できる農産物、食品とはどうあるべきかを解説します。

安全は国、県が決めた基準を満たしていればいいのですが、消費者としての安心はその基準をはるかに下回るもので、例えば残留農薬は基準値がありますが、残留農薬は無いなら無いほうがいいからです。

自然界では植物に対して農薬も肥料やりません。でも立派に成長します。自然の仕組み中で植物と微生物は共生関係にあります。お互いの必要なものをやり取りします。肥料は無いか少なければ安心なわけです。

私たちのご先祖はつい最近までそのようなお米、豆、野菜を食べてきたわけです。そのお米の話も食事法とともに講習で詳しくお話します。

それでは今の農産物はどうなっているのでしょうか。文科省が出すデータを見てみますと50年前のものと同量元素、ビタミン等を比較すると十分の一前後になっています。

私たちのお腹は満たされても十分に栄養素を取れていないのです。

問題はどこから来るのか？それは化学肥料、化学農薬を使用することにあります。

これは利点もありました。国民の食卓に早く大規模かつ安価に生産・供給できるということです。

欠点は微量元素やビタミンなどの栄養素が十分入らない事、また葉っぱや茎に作物が消化できなかった肥料分が残ります。

それが人間の体に害になり、特に生で食べることは避けたほうが良いです。煮炊きすれば大部分は無くなりますが、同時に微量元素やビタミンも消失します。

今のところ、私の講習が開催できる時期は未定ですが、講習では『自然と農と食と医』について詳しく解説します。それぞれは無関係に見えて密接に関係しています。これが解ると未来が解ります。

自然農、有機栽培の説明とすぐに出来るプランターを使ったやり方を実践編としても企画しております。

ダイコンの栄養素 日本食品標準成分表より

改訂/栄養素	カルシウム	ビタミンC
三訂(1963)	190	90
四訂(1982)	30	15
五訂(2005)	24	12
七訂(2015)	24	9

単位 mg/100g



令和2年2月15日に環境部会の主催で、「安全な野菜を上手に作る講座」を再生工房にて開催しました。講師の井上永太郎氏の呼びかけは、「現在、安全な野菜はなかなか手に入らない。安全な野菜の基本について知ることは大切」です。大切な知識ですので皆様にも知っていただきたく、原稿を依頼しました。



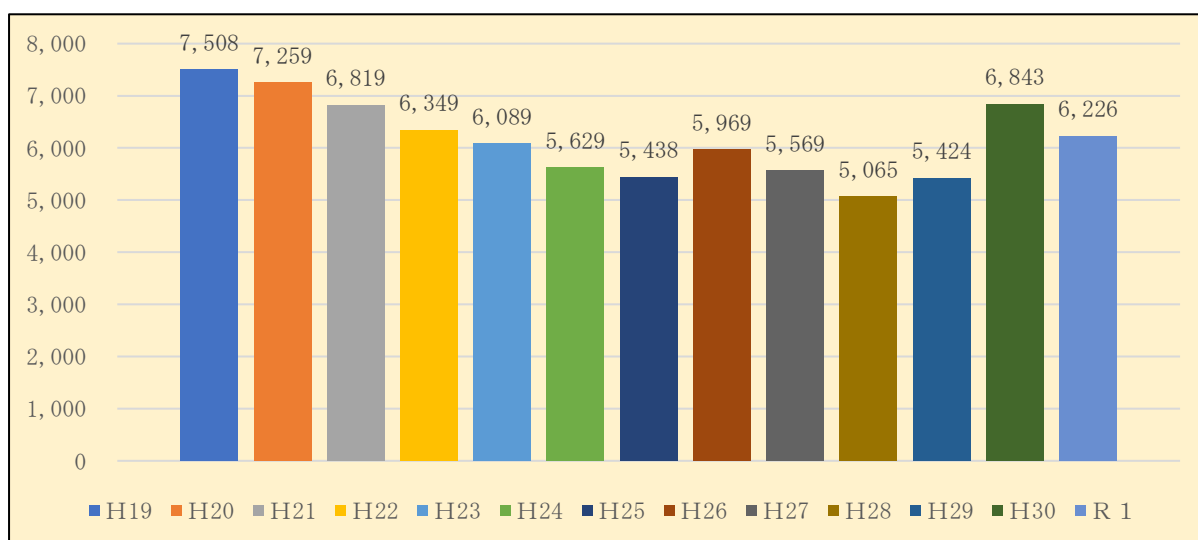
再生工房利用者数の推移

記録のある範囲での再生工房の利用者数は、下記グラフのとおりです。利用者数とは、この施設の各種教室に参加した人の数、この施設を訪れた人の総数です。下のグラフで分かるように開設当初は利用者が徐々に減少しています。しかし、この現象はだいたいの施設に言えることです。

平成24年からは、利用者が概ね横這いの利用が続いています。賛助会員の皆様と当時の関係者が、いかに利用者を確保するか苦慮し、努力してきたかが理解できます。

いま、世の中は急激に変化をしています。インターネットを利用して個人の品物の通販、学習ニーズの変化、利用者・講師の高齢化など、時代に即した運営が求められています。

(下表の単位:人)



新型コロナウイルス感染防止に関する耳納ねっと！の取り組みについて

再生工房は、うきは市・久留米市からの予算をいただき運営している施設ですが、運営は独立しております。両市からの色々な連絡事項・指示などはありません。今年の大きな恐怖となりました、ウイルス対処法でも自分で判断していかねばなりません。適宜、運営委員会を開催し、利用者の命・安全を守るために対処してまいりました。教室を4月4日より中止し、6月6日より再開しました。これまでの皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

7月15日現在うきは市では、「公共施設の部屋使用では、定員の半分未満等」の感染対策を続けております。今後も両市の動向を注視し万全を期してまいります。皆様のご理解をよろしくお願いします。

- 耳納ねっと！の教室定員は現在も10名です。そして、事前予約が必要です。
- 10月に予定をしておりました「エコ教室作品展」は、延期します。
- 11月第4日曜日に予定しております「フリーマーケット」は、これから開催の可否を協議します。

ダンボールコンポストモニター事業 協賛企業のみなさま

限りある資源を未来へつなぐ

(株) ミュルテーション

■取扱品：金属くず、アルミ、非鉄金属、古紙類、引越ゴミ、倉庫ゴミ、粗大ゴミ等

〒839-1301 福岡県うきは市吉井町桜井461番地1

TEL：0943(76)5757  **0120-538-572**

FAX：0943(76)5767 *携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。



株式会社

飛鳥産業

〒838-1311
福岡県朝倉市多々連字松ノ木782番地1
TEL：0946(26)5108 FAX：0946(26)5107
E-mail：k.ikeuchi@asukasangyo.jp

【業務内容】 産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物収集運搬業・有価物買取・古物高取引



有限会社 田主丸衛生社

代表取締役 **石井 久利**

久留米市田主丸町豊城 1802-1 TEL 0943-72-3655 FAX 0943-73-1635

協賛企業・協賛者の方は通信 minounet (年4回発行) 及び耳納ねっと! ホームページに掲載します。

再生工房エコ教室のご案内 受講料 久留米・うきは市在住者500円、左記以外は700円(年会費千円で各200円引き) 受講は電話予約が必要です。託児もつけることができます(要予約・無料)

	8月	9月	10月	11月	備考
リフォーム教室 13:00~16:00	① 4(火) 5(水) ②18(火)20(木) ③25(火)26(水)	① 3(木) 4(金) ②15(火)16(水) ③29(火)30(水)	① 6(火) 7(水) ②20(火)21(水) ③29(木)30(金)	① 5(木) 6(金) ②18(水)19(木) ③25(水)27(金)	不要な布を活用する洋裁教室。 ①~③の内容は同じ。 いずれか1つを選択。 講師の指導を受けながら、 作りたいものを仕上げます。
布ぞうり教室 13:00~15:00 布ぞうり材料作り 10:00~15:00	11(火) 12(水) 材料作り 21(金)	1(火) 2(水) 材料作り 17(木)	1(木) 2(金) 材料作り 27(火)	10(火) 11(水) 材料作り 24(火)	材料を購入すると布ぞうりが 2日間できるプログラム。 材料代1,000円。材料持込も 可。裁縫道具持参。
裂き織り教室 朝 9:30~12:30 昼13:00~16:00 夜18:00~21:00	6(木) 27(木) 縫物 22(土)	10(木) 24(木) 縫物 26(土)	8(木) 22(木) 縫物 24(土)	12(木) 26(木) 縫物 28(土)	布を細かく裂いて卓上裂織機で 織りあげていきます。 卓上裂織機を貸与 (長期者は有料) 裂織機の空き状況要確認。
一閑張り教室 13:00~15:00	7(金) 12(水) 21(金)	8(火) 9(水) 11(金)	1(木) 2(金) 9(金)	4(水) 10(火) 11(水)	籠をはじめ様々な素材に 和紙を貼っていく作品。 初心者小さい物から作成。 籠、和紙は教室時に販売。
3Rクッキング教室 10:00~12:00	7(金) 季節のおもてなし 料理 28(金) そば三昧	11(金) 防災クッキング 25(金) 乳和食	9(金) 柚子胡椒料理 23(金) 窯焼きピザ	13(金) オリーブ料理 20(金) 黒糖蒸しパン	省エネ、時短など環境に 配慮した料理。郷土・伝統 料理、旬の食材、手づくり こだわった料理教室。 月2回、原則金曜日に開講。
きんつぎ教室 18:00~20:30	土曜コース 1(土) 金曜コース 7(金)	土曜コース 5(土) 金曜コース 11(金)	土曜コース 3(土) 金曜コース 9(金)	土曜コース 7(土) 金曜コース 13(金)	陶磁器の伝統的な修理法。 修繕材料代900円/回が 必要。 修繕したい陶磁器を持参。
ダンボールコンポスト 講習会 15:00~16:00	22(土)	26(土)	24(土)	21(土)	ダンボールの中に基材を入れて 生ごみを入れ続けると3ヶ月で 堆肥に変わります。上手に堆肥 にするためのコツを教えます。

再生工房

〒839-1333 うきは市吉井町富永 2006-1 休館日:月曜日・お盆・年末年始 開館:9時~17時
耳納クリーンステーション付属施設(管理者:耳納ねっと!) ☎0943-76-2077

